金銀花



夏休みも終わり、暑かった夏も過ぎていきます。

気温が下がると秋の気分になりますが、残暑ももう少し楽 しみたい気持ちです。

気温差が大きいと呼吸器を傷めやすく、風邪を引きやすくなります。咽頭炎や鼻炎、気管支炎などそれぞれに症状も違いますが、最近は咳が長く残る人が多いと思います。

湿った咳で痰が絡み、気管がゴロゴロいうような症状や



逆に乾いたコンコンする咳。

咽喉に刺激を受けて出たり、横になると悪化する。夜中にひどくなって、 出だすと止まらないとか、本当にい ろいろな症状があります。

漢方ではそういった細かな症状に 対応できる処方があります。

お困りのときはぜひ、ご相談ください。



【不妊症講座】

8月22,23日に恵比寿の不妊専門クリニック、東京ファテリティクリニック理事長の小田原靖先生の講義を受けました。

先生は生殖補助医療(ART)がご専門で実績を重ねていらっしゃいます。 写真のとおり、やさしいソフトなお人柄で細部にわたり講義をしてくだ さいました。

漢方薬はまったくわからないが、体調が良くなって生殖に関わる条件が 改善するのは非常によいことだとエールもいただきました。

その方の年齢や卵巣の働きによって、採卵方法をどのように選択する かということはとても大切なことです。

卵巣に負担がかかりすぎると卵巣が腫れてしまい、治療を中止したり延期することもあります。



使用するホルモン剤の種類、投与回数、投与方法などのお話や最近の受精卵の培養について、培養液や凍結方法。その治療成績など貴重なお話をたっぷりお聞きしました。

店頭でのご相談時に、いま受けている治療の目的やホルモン剤の必要性など、確かで正しい情報をお話しすることで、治療への不安を解消していただけたらと思います。

「きょう、スケジュールを渡されたけどこの意味は?」といった質問にもお答えしています。

心にゆとりができると気持ちも前向きになります。身体の基本は漢方薬で整え、西洋医学の先端技術によって効果が期待通りに出せるようにと願っています。

もちろん、お二人の体調を改善することで自然妊娠されることも多いのです。 心もからだも元気になって願いを実らせましょう。